

福島経済マンスリー

3月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

1. 2018年3月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さに加え、住宅投資が震災前を上回りながらも減少基調で推移するなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。		
消費動向	大型小売店販売額(全店舗)は、百貨店が7カ月連続で前年を下回ったものの、スーパーが5カ月連続で前年を上回り、合計でも4カ月連続で前年比プラスとなった。乗用車新車登録台数は軽自動車が前年を上回ったものの、普通車、小型車がともに前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が4カ月連続で前年を下回ったものの、請負金額が9カ月ぶり、保証金額が13カ月ぶりに前年を上回った。単月では前年を上回る結果となったが、復旧・復興の進捗に伴い、基調としては減少が続いている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が3カ月連続、床面積が5カ月ぶり、工事費予定額が2カ月ぶり、いずれも前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家が5カ月連続、貸家と分譲が2カ月連続で、いずれも前年を下回り、全体でも2カ月連続で前年を下回った。特に、震災後に急増した貸家の減少幅が大きくなっている。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比(季節調整値)が+3.9%と2カ月ぶりに前月値を上回った。業種別の前月比をみると、上昇が15業種に対し低下が4業種となり、多くの業種で改善がみられた。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.02ポイント、原数値が前年同月比+0.04ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△6.6%と2カ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は2月データ。

〈天気図(水準)の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年10月	11 月	12 月	2018年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 1.5	△ 0.1	0.7	0.0	0.5	0.4
	乗用車新車登録台数	2.4	△ 3.7	△ 10.7	△ 0.7	△ 5.2	△ 6.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 22.8	△ 26.5	△ 52.0	△ 32.3	△ 17.3	12.9
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 50.7	40.0	2.5	△ 53.4	10.1	△ 8.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 10.7	△ 16.8	△ 19.8	5.4	△ 5.3	△ 30.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.6	△ 2.1	2.6	△ 0.6	△ 0.7	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.05	0.02	0.07	0.08	0.07	0.04
	雇用保険受給者実人員	5.3	5.5	2.3	0.1	△ 5.3	△ 6.6

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

(2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年10月	11 月	12 月	2018年1月	2 月	3 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	8.0	△ 0.0	26.3	△ 17.3	△ 10.8	11.6
	乗用車新車登録台数	△ 16.6	3.0	△ 12.4	15.5	8.3	59.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	14.6	△ 36.2	22.6	△ 3.3	△ 9.6	91.4
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 10.2	△ 21.0	△ 9.2	△ 19.4	△ 3.8	37.5
住宅投資	新設住宅着工戸数	10.3	△ 25.0	7.7	△ 18.0	4.3	△ 24.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.7	△ 0.1	4.1	△ 8.1	3.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.01	0.02	0.01	△ 0.02	0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 1.7	△ 4.9	△ 6.6	△ 0.2	△ 5.6	1.3

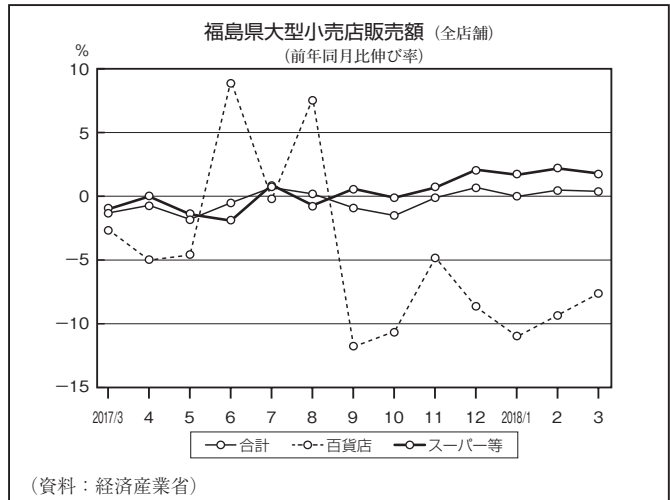
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

3. 県内経済動向

消費動向

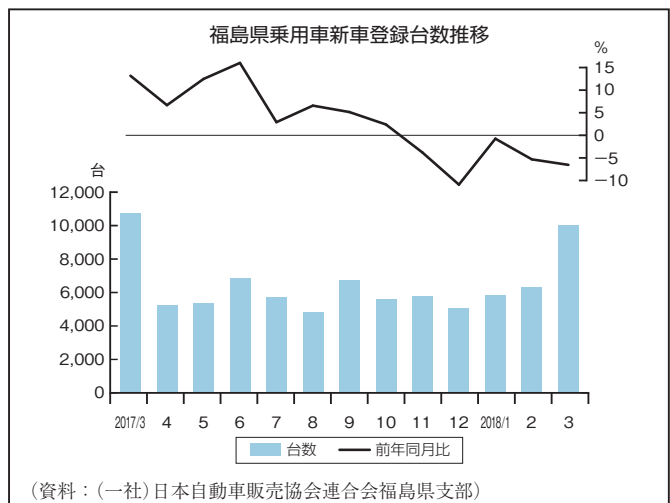
大型小売店：4カ月連続で前年比増

3月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で212億24百万円（前年同月比+0.4%）と4カ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△7.6%となった。一方、スーパーは、衣料品などが前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+1.8%となった。



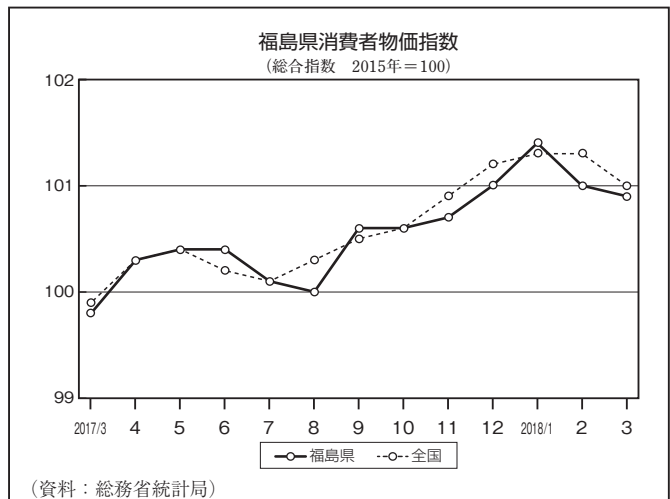
乗用車販売：5カ月連続で前年比減

3月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で10,034台（前年同月比△6.4%）と、5カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が3,560台（同+3.1%）で2カ月ぶりに前年を上回ったものの、普通車が3,400台（同△5.3%）で3カ月連続、小型車が3,074台（同△16.5%）で6カ月連続と、ともに前年を下回った。



消費者物価指数：前年比は上昇、前月比は低下

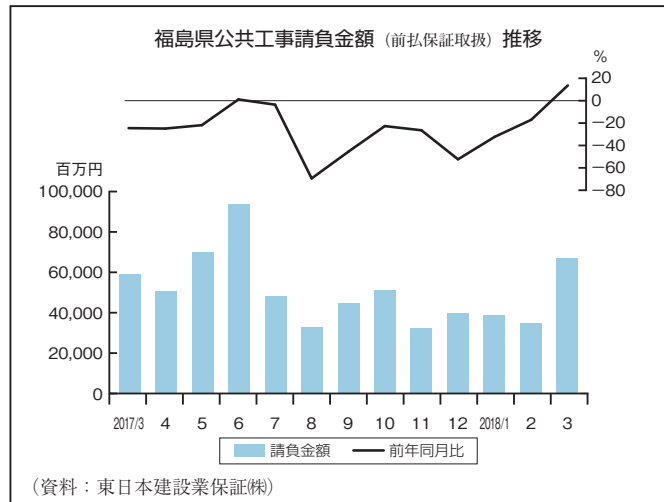
3月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.9で前年同月比+1.1%、前月比△0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「被服及び履物」の96.7（同+3.5%）など2費目で上昇し、下降したのは「食料」の104.1（同△0.8%）など4費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は9カ月ぶりに前年比増

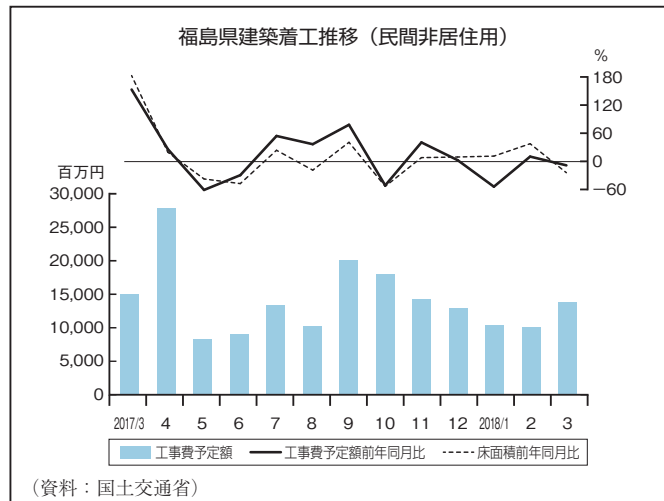
3月の公共工事前払保証取扱は、件数が299件（前年同月比△34.7%）と4カ月連続で前年を下回ったものの、請負金額が672億24百万円（同+12.9%）で9カ月ぶり、保証金額が332億93百万円（同+2.2%）で13カ月ぶりに、それぞれ前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は2カ月ぶりに前年比減

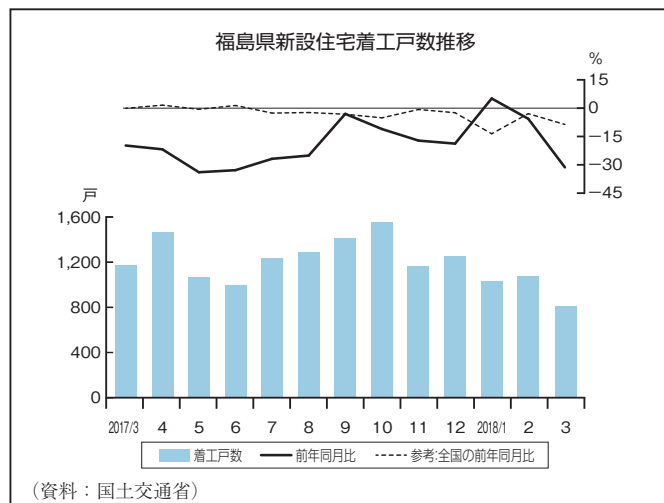
3月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が118棟（前年同月比△7.1%）で3カ月連続、床面積が65,462㎡（同△23.9%）で5カ月ぶり、工事費予定額が137億73百万円（同△8.4%）で2カ月ぶりに、いずれも前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は2カ月連続で前年比減

3月の県内新設住宅着工戸数は、810戸（前年同月比△30.9%）と2カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が423戸（同△16.7%）で5カ月連続、「貸家」が265戸（同△47.2%）で2カ月連続、「分譲」が115戸（同△29.0%）で2カ月連続と、いずれも前年を下回った。

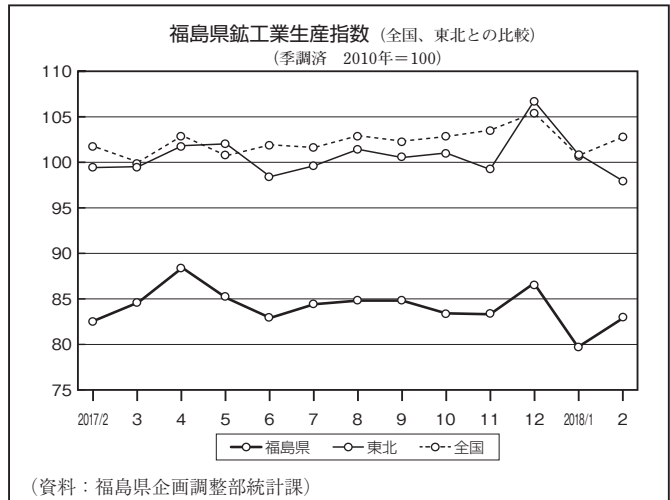


生産活動

※鉱工業生産指数は2月のデータ

鉱工業生産指数：前月比上昇、前年比低下

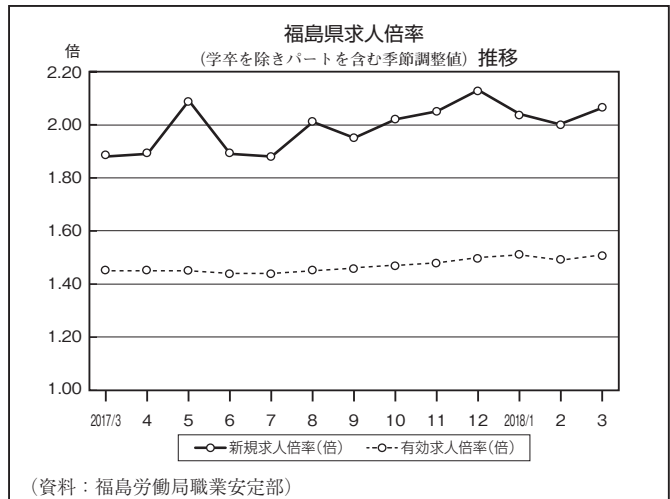
2月の鉱工業生産指数（季節調整値）は82.8で前月比+3.9%と2カ月ぶりに前月値を上回った。一方、原指数は81.0で前年比△0.7%と2カ月連続で前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「輸送機械工業」（前月比+12.8%）など15業種で上昇し、「電気機械工業」（同△8.4%）など4業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比・前年比ともに上昇

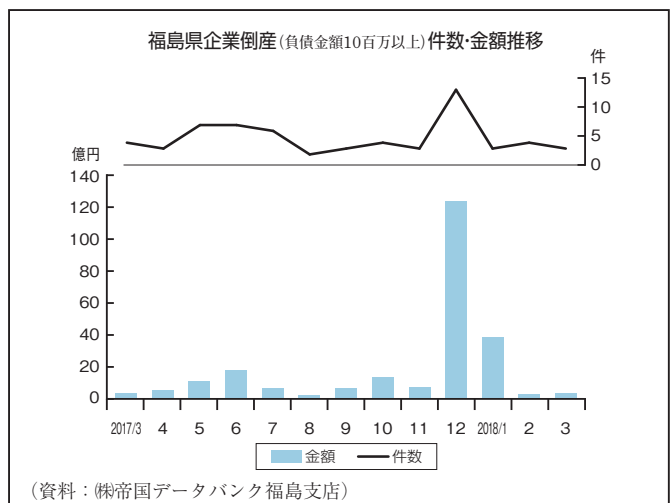
3月の新規求人倍率は、季節調整値が2.06倍（前月比+0.06ポイント）、原数値が1.83倍（前年同月比+0.08ポイント）となった。また、3月の有効求人倍率は、季節調整値が1.51倍（前月比+0.02ポイント）、原数値が1.50倍（前年同月比+0.04ポイント）となった。一方、3月の雇用保険受給者実人員は5,494人（前年同月比△6.6%）と2カ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比減

3月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比△25.0%）、負債総額が3億11百万円（同△15.9%）と、いずれも前年を下回った。業種別では、建設業、製造業、サービス業で1件ずつとなった。

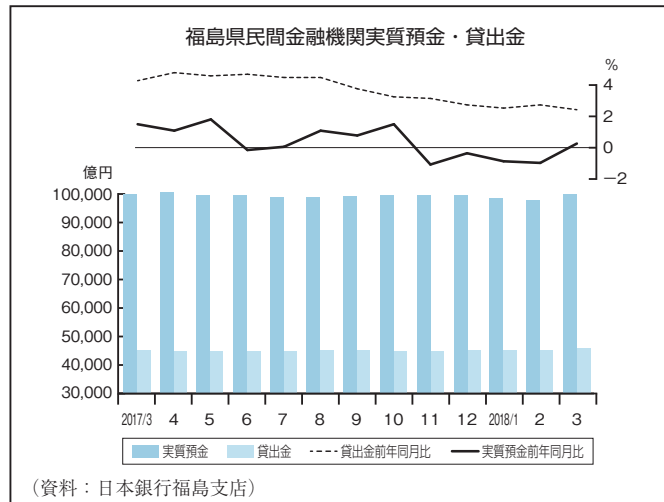


金融動向

資金需給：実質預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の3月末の実質預金残高は、10兆325億円（前年同月比+0.2%）と5カ月ぶりに前年を上回った。一方、貸出金残高は、4兆5,904億円（同+2.3%）と4年10カ月連続で前年を上回っている。

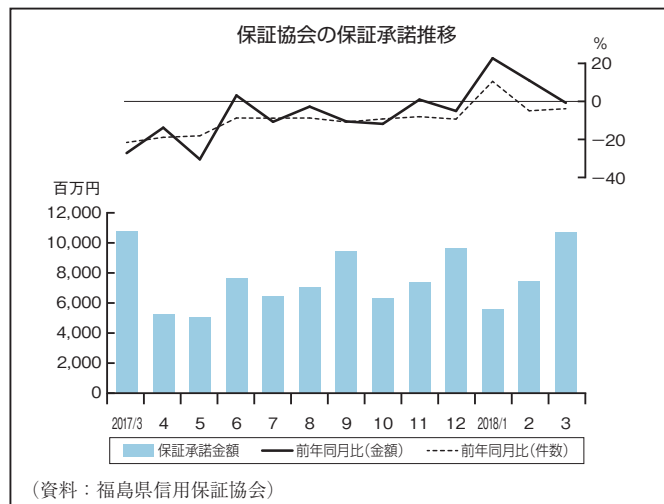
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比減

3月の保証承諾は、件数が842件（前年同月比△3.9%）、保証金額が106億91百万円（同△0.8%）となった。また、3月末日現在の保証債務残高は、件数33,426件（同△9.6%）、金額2,834億65百万円（同△11.2%）となった。

一方、3月中の代位弁済は、件数が54件、金額が6億78百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店 3月の家電大型専門店の売上高は、テレビの販売増加が目立ち、また、スマートフォンの新製品発売効果などもあり、合計では前年を3%ほど上回った。

ホームセンター 3月のホームセンターの売上高は、園芸・農業資材、植物などが前年比増加し、合計では前年を10%ほど上回った。

旅行 3月の旅行取扱額は、国内・海外ともに前年を10%ほど下回った。個人・団体別で見ると、個人旅行は前年並みとなったが、団体旅行が前年を大きく下回る結果となった。

高速道路 3月の県内自動車道出入台数は、合計で5,241,238台（前年同月比△4.4%）と、3カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,672,764台（同△0.2%）で2カ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が543,764台（同△3.5%）で3カ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡

山東 IC) が384,930台 (同△3.9%) で5カ月ぶり、常磐自動車道 (いわき勿来 IC~新地 IC) が1,639,780台 (同△11.0%) で7カ月連続と、いずれも前年を下回った。

福島空港 3月の福島空港国内定期路線の利用状況は、18,636人 (前年同月比△4.8%) と3カ月ぶりに前年を下回った。路線別にみると、札幌便は3,482人 (同△23.6%)、大阪便は15,154人 (同+1.0%) となった。

(国際定期路線は全便運休)

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 3月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の需要が堅調で、生産水準は前年を上回り推移している。

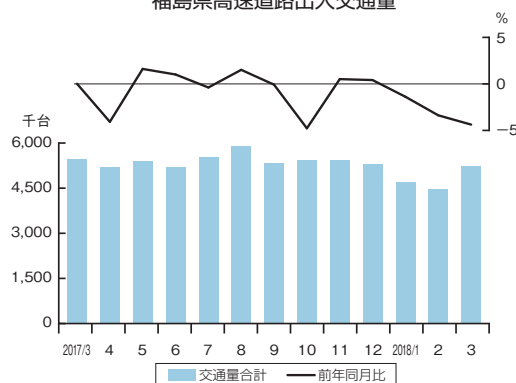
鉄鋼・金属 3月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が前年を5%ほど上回ったものの、半導体向け電子材が前年を10%ほど下回り、全体でも前年をわずかに下回った。3月の建機用鋳造品の生産は、前年を5%ほど下回った。3月の鋳鋼品の生産は、船用部品が前年を30%ほど下回ったものの、鉄道などの車輛関連については前年の約3倍の生産となり、継続的な需要が見込まれている。

輸送用機械 3月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を10%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 3月の電気機械の生産は、車載モータなどが前年を上回ったものの、配電盤や変圧器などが前年を下回り、合計でも前年を20%ほど下回った。

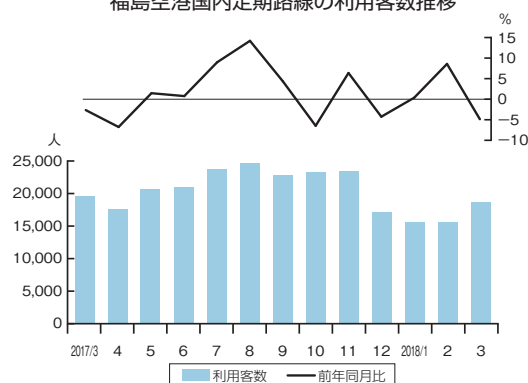
情報通信機械 3月の情報処理装置は、前年並み

福島県高速道路出入交通量



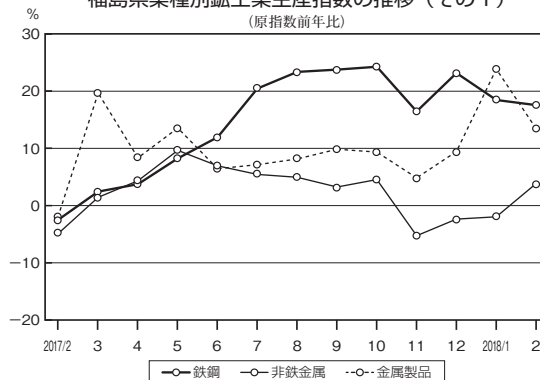
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



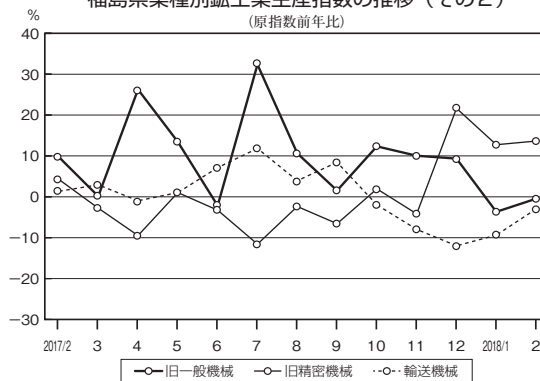
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

の生産水準となり、受注状況は安定している。

電子部品・デバイス 3月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年を20%ほど下回ったものの、前月比では40%ほど増加し、需要の回復がみられる。

精密機械 3月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を5%ほど上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、受注が国内外ともに引き続き好調で、フル稼働の生産が続いている。

窯業・土石 3月の生コンクリート出荷量は、全体で137,134m³（前年同月比△8.1%）と2カ月ぶりに前年を下回った。民需・官公需別では官公需の減少が目立ち、地域別では、ダムや発電所などの工事が進む会津地域のみ前年を上回り、それ以外の地域は前年を下回った。

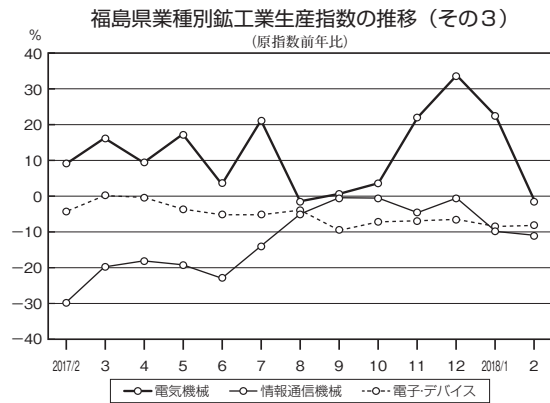
紙・紙加工品 3月の製紙の生産は、感熱紙の需要が国内・海外ともに増加しているものの、ノーカーボン紙の需要は減少が続いており、全体では前年をわずかに下回った。

清酒 3月の清酒移出数量は、1,038kL（前年同月比△10.3%）と2カ月ぶりに前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が483kL（同△17.4%）で2カ月ぶり、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が555kL（同△3.0%）で8カ月ぶりに前年を下回った。

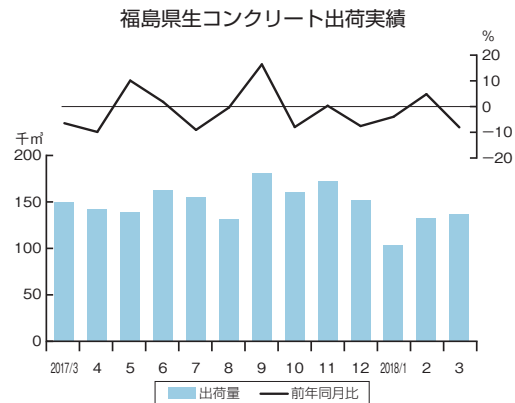
化合繊維物 3月の化合繊維物は、生産額が前年を20%ほど上回り、好調な生産を維持している。

ニット 3月のニットは、春物製品や秋冬物のサンプル品の生産が引き続き順調で、生産額は前年をやや上回っている。

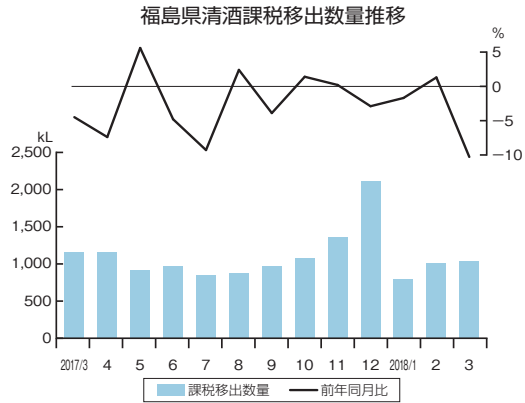
電灯電力 3月の電灯電力販売量は、1,200百万kWh（前年同月比△5.8%）と、2カ月連続で前年を下回った。



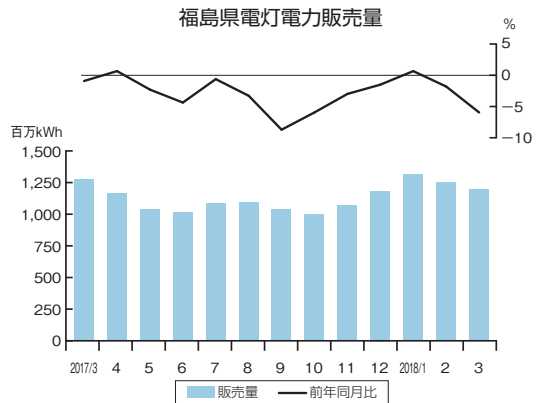
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)